

(2) 社会

ア 個々の問題の概要及びその通過率

—評価の観点—	
思・判・表	社会的な思考・判断・表現
技能	資料活用 of 技能
知・理	社会的事象についての知識・理解

(◇：「活用」に関する問題)

学習指導要領の内容	問題番号	出題のねらい	活用	評価の観点	設定通過率(%)	通過率(%)
地理(1)ア	1	(1) 地図上から、本初子午線を指摘することができる。		知・理	50.0	80.2
地理(1)ア		(2) 地図に記載されていない南極大陸を指摘することができる。	◇	技能	80.0	90.7
地理(1)ア		(3) 経度、緯度を正しく地図上で指摘することができる。	◇	思・判・表	50.0	57.8
地理(2)ア		(4) ロンドンと日本の時差を計算し、題意に合った文章で表現することができる。	◇	思・判・表	50.0	46.5
地理(1)イ		(5) 熱帯地域の特色を資料から読み取り、ナディーの雨温図を選択することができる。	◇	思・判・表	65.0	72.4
地理(2)ア	2	① 文章から地方の特色を読み取り、地図上で近畿地方を選択することができる。		思・判・表	60.0	56.5
地理(2)ア		② 文章から地方の特色を読み取り、地図上で東北地方を選択することができる。		思・判・表	60.0	74.7
地理(2)ア		(2) 図を読み取り、経済水域を指摘することができる。		知・理	45.0	65.3
地理(1)エ	3	ア・エの選択 (1) 4種類の資料から選択し、読み取ることを通して、選択肢の正誤を判断することができる。	◇	思・判・表	60.0	70.4
地理(1)エ			◇	思・判・表	60.0	45.7
地理(1)エ		(2) 条件に合ったグラフを選択することができる。		技能	75.0	53.3
地理(1)ウ	4	(1) 資料から、米の生産が多くなる気候的条件を題意に合った文章で表現することができる。	◇	思・判・表	40.0	48.5
地理(1)ウ		(2) ヨーロッパ州に関する2つの主題図を読み取り、民族分布と宗教の関連を指摘することができる。	◇	思・判・表	50.0	69.0
地理(1)ウ		(3) アフリカ州の輸出に関する統計資料から、アフリカ州の産業の特色を指摘することができる。	◇	思・判・表	45.0	72.8
地理(1)ウ		(4) ブラジルにおいて、森林減少が進んでいる理由として、適切でないものを選択することができる。		知・理	45.0	30.0
地理(1)ウ		(5) アメリカ合衆国で新しく工業が発展してきている地域がサンベルトであることを指摘することができる。		知・理	50.0	29.3
地理(1)ウ		(6) オーストラリアへの移民に関する資料から、読み取れることを指摘することができる。	◇	思・判・表	45.0	60.6
歴史(1)ア	5	(1) 年表から、誤っている時代区分を指摘することができる。		知・理	50.0	68.0
歴史(1)ア		(2) 豊臣秀吉と伊藤博文が活躍した時代を指摘することができる。		知・理	75.0	73.2
歴史(1)ア		(3) 他のカードを参考にして、時代の特色を簡単な文章で表現することができる。	◇	思・判・表	45.0	10.9
歴史(2)ア	6	(1) 資料中に述べられている国が邪馬台国であることを指摘することができる。		知・理	80.0	49.9
歴史(1)イ 歴史(2)ア		(2) 魏志倭人伝の時代のころの日本の遺跡を選択することができる。		知・理	70.0	28.1
歴史(2)ア		(3) 資料が縄文時代のものであることを読み取り、当時の生活について指摘することができる。		知・理	55.0	49.5
歴史(2)イ	7	(1) 表中の空欄にあてはまる語句を選択することができる。		知・理	55.0	69.5
歴史(2)ウ		(2) 奈良時代の仏教の特色として正しい文を選択することができる。		知・理	55.0	41.1
歴史(2)イ		(3) 平安時代の東アジアの様子として、適切な地図を選択することができる。	◇	思・判・表	45.0	20.1
歴史(2)イ		(4) 平安時代の政治に関する3枚のカードを時代が古い順に並べ替えることができる。	◇	思・判・表	40.0	36.2
歴史(2)ウ		(5) 4枚の写真資料から、飛鳥、奈良、平安時代のいずれにもあてはまらないものを指摘することができる。	◇	思・判・表	40.0	28.3
歴史(3)ア	8	(1) 資料から、承久の乱後に設置された六波羅探題を指摘することができる。		知・理	60.0	55.8
歴史(3)イ		(2) 鎌倉新仏教の特色を短文で表現することができる。	◇	思・判・表	50.0	21.3
歴史(3)ア		(3) 御成敗式目を指摘することができる。		知・理	50.0	28.7
歴史(3)イ	9	(1) 資料から、農民の反乱である土一揆を指摘することができる。		知・理	45.0	83.1
歴史(3)イ		(2) 3つの資料を比較し、室町時代の農業の特色を指摘することができる。	◇	思・判・表	40.0	50.6
歴史(3)イ		(3) 資料から、書院造を指摘することができる。		知・理	45.0	79.1

イ 個々の問題の教育事務所管内・地区別通過率

問題番号	問 題 の 内 容	設 定 通過率	東 青 管 内			西 北 管 内				
				青森市	東郡		五所川原市	つがる市	西・北郡	
1	(1)	本初子午線の理解	50.0	81.9	81.9	81.5	76.1	73.8	79.3	76.8
	(2)	六大陸の位置と名称の理解	80.0	92.0	92.1	90.1	92.3	89.3	95.0	94.2
	(3)	緯度、経度の理解	50.0	60.3	60.3	61.1	55.1	53.6	52.5	58.7
	(4)	日本とロンドンの時差の理解	50.0	50.5	50.6	48.8	43.9	40.0	46.5	47.0
	(5)	フィジーの首都ナディエーの雨温図	65.0	76.5	76.4	77.2	67.5	61.6	74.6	70.1
2	(1)	① 地方区分の理解～関東地方	60.0	57.8	57.9	56.2	55.0	52.9	54.8	57.8
		② 地方区分の理解～北海道地方	60.0	75.4	75.4	75.9	73.3	70.2	72.9	77.3
	(2)	経済水域の理解	45.0	66.6	67.0	60.5	59.7	51.4	75.3	59.5
3	(1)	ア・エの選択 複数資料の読み取り	60.0	71.6	71.7	69.8	69.7	66.4	75.3	70.1
		複数資料の読み取り	60.0	47.0	47.1	45.1	45.6	41.1	49.5	48.7
	(2)	資料から読み取ったことの表現	75.0	52.0	52.1	50.6	55.9	55.5	61.2	53.0
4	(1)	複数資料の読み取り	40.0	50.3	51.8	27.2	49.7	53.0	38.8	52.6
	(2)	複数資料の読み取り	50.0	70.7	70.6	72.2	65.3	61.8	69.9	66.5
	(3)	複数資料の読み取り	45.0	75.7	75.7	76.5	71.6	67.7	73.9	74.9
	(4)	複数資料の読み取り	45.0	31.5	31.4	33.3	27.1	26.6	29.1	26.4
	(5)	サンベルトの理解	50.0	27.9	28.2	22.8	24.8	22.0	31.1	24.2
	(6)	複数資料の読み取り	45.0	61.9	61.9	62.3	58.2	56.3	60.9	58.9
5	(1)	日本の時代区分の理解	50.0	73.8	74.1	67.9	62.2	56.6	66.6	66.2
	(2)	歴史の流れの理解	75.0	74.7	74.5	77.8	68.8	65.4	74.2	69.5
	(3)	古代の特色の理解	45.0	15.3	15.7	10.5	8.9	4.3	12.0	12.3
6	(1)	邪馬台国の理解	80.0	54.2	53.8	60.5	42.7	39.8	46.5	43.7
	(2)	弥生時代の遺跡の理解	70.0	32.5	32.8	28.4	27.5	26.3	25.4	30.3
	(3)	縄文時代の理解	55.0	52.5	52.5	52.5	47.8	45.5	50.2	48.9
7	(1)	古代の様子の理解	55.0	72.8	72.9	70.4	61.2	56.8	66.2	63.4
	(2)	奈良時代の仏教の理解	55.0	43.8	43.9	42.6	35.0	32.9	40.8	34.0
	(3)	平安時代の東アジアの理解	45.0	20.6	20.8	17.3	19.4	18.4	20.1	20.1
	(4)	平安時代の政治の流れの理解	40.0	38.5	38.8	34.0	33.5	30.2	38.8	34.0
	(5)	古代の文化の理解	40.0	33.1	33.1	32.7	24.3	21.3	30.8	23.8
8	(1)	六波羅探題の理解	60.0	60.2	60.4	57.4	49.4	35.9	61.5	57.8
	(2)	鎌倉仏教の特色の理解	50.0	26.5	26.1	32.1	16.8	8.9	29.4	18.2
	(3)	御成敗式目の理解	50.0	35.7	36.8	19.1	16.8	9.3	29.8	17.5
9	(1)	土一揆の理解	45.0	85.4	85.4	85.2	77.4	75.9	81.9	76.4
	(2)	室町時代の農業の理解	40.0	54.1	54.0	54.9	47.4	42.0	51.5	51.3
	(3)	書院造の理解	45.0	83.4	83.3	85.2	64.6	47.1	75.6	78.6
教 科 全 体			53.8	56.1	56.2	54.1	49.8	45.9	54.2	51.8

(単位：%)

	中 南 管 内				上 北 管 内			下 北 管 内			三 八 管 内		県全体		
	弘前市	黒石市	平川市	中・南郡	十和田市	三沢市	上北郡	むつ市	下北郡	八戸市	三戸郡				
75.6	75.0	73.6	82.8	74.1	81.4	84.1	86.1	77.4	87.2	86.7	89.1	81.7	81.5	82.4	80.2
86.0	85.7	86.4	90.1	82.6	90.8	93.6	90.1	89.1	92.4	93.7	87.7	91.9	93.0	87.6	90.7
50.8	51.5	48.5	50.7	49.8	57.8	62.2	54.3	56.2	61.0	62.0	57.2	61.5	62.0	59.5	57.8
40.9	42.0	35.5	45.3	37.8	49.1	56.5	47.9	44.3	46.8	49.6	36.2	46.7	47.0	45.6	46.5
68.3	69.4	66.7	69.7	63.7	72.2	76.3	70.3	70.1	70.7	72.2	65.2	74.5	74.9	72.9	72.4
52.5	52.6	55.8	47.8	52.5	58.0	65.5	54.0	54.3	56.3	56.3	56.5	58.3	57.7	60.5	56.5
73.3	72.5	79.4	73.0	70.7	74.9	77.6	73.5	73.5	73.5	74.1	71.0	76.1	76.4	74.9	74.7
60.4	61.8	52.1	60.2	63.7	64.4	64.3	66.0	63.8	62.2	67.6	42.0	72.2	72.3	71.8	65.3
69.2	69.0	69.4	74.1	65.3	69.4	72.3	64.7	69.3	71.1	73.3	63.0	70.9	71.6	68.2	70.4
42.3	42.0	41.2	46.4	40.9	47.2	51.0	42.0	46.6	45.8	47.1	41.3	46.2	46.0	46.9	45.7
52.0	52.4	48.8	59.1	46.7	52.1	53.1	50.5	52.0	45.7	44.5	50.0	57.0	57.8	53.8	53.3
47.7	44.4	40.0	65.0	56.4	45.2	47.7	48.7	42.0	44.1	44.7	42.0	49.9	49.1	53.5	48.5
67.4	68.5	66.1	67.9	62.5	69.5	71.8	71.7	66.9	67.3	67.1	68.1	70.7	71.0	69.5	69.0
70.6	72.2	63.9	69.3	72.2	72.1	75.0	70.3	70.7	71.8	74.3	62.3	72.9	73.4	70.9	72.8
29.4	29.5	33.0	28.8	24.7	28.3	33.2	30.5	23.9	31.0	31.8	28.3	31.4	32.8	26.0	30.0
26.7	27.4	22.4	31.4	23.9	31.6	45.2	29.7	22.7	28.1	29.8	21.7	33.5	35.4	26.2	29.3
57.8	59.7	53.3	55.5	55.6	60.2	67.1	56.7	56.7	59.9	63.9	44.9	63.2	64.0	59.8	60.6
64.1	64.7	64.2	63.1	62.2	68.3	69.7	71.7	65.9	69.1	74.3	50.0	67.6	68.0	66.1	68.0
71.2	72.5	69.4	70.4	68.0	74.4	77.8	74.3	72.1	74.5	75.5	71.0	74.4	74.4	74.5	73.2
8.8	9.5	4.2	6.6	13.1	6.9	11.0	4.3	5.0	6.6	7.1	5.1	13.3	13.7	11.8	10.9
48.5	46.7	46.1	53.3	56.4	46.9	54.6	49.2	40.4	52.5	57.1	35.5	51.5	51.8	50.4	49.9
23.7	23.9	18.5	25.2	27.8	33.0	43.8	22.2	29.9	27.0	30.8	13.0	24.3	23.0	29.5	28.1
49.4	52.0	40.3	54.4	42.5	46.6	50.2	45.2	44.7	57.0	60.4	44.9	47.4	47.9	45.5	49.5
65.0	65.2	65.5	63.9	64.5	71.4	73.9	69.5	70.4	74.1	76.7	64.5	71.5	71.8	70.5	69.5
38.7	39.0	39.7	40.1	34.4	43.1	42.7	48.1	41.4	37.8	40.0	29.7	42.8	42.4	44.0	41.1
19.6	21.1	15.5	19.3	17.0	20.2	23.0	15.5	20.3	20.5	21.0	18.8	20.1	20.0	20.2	20.1
33.0	33.4	31.2	35.0	31.3	36.7	37.0	34.5	37.5	38.3	36.9	43.5	36.8	37.4	34.7	36.2
26.7	26.7	22.1	30.7	28.2	26.8	31.1	24.3	24.9	25.8	25.7	26.1	28.5	28.7	27.8	28.3
55.5	57.2	54.5	52.9	50.6	53.7	59.4	60.4	46.7	56.2	56.7	54.3	56.2	57.0	52.9	55.8
21.9	20.4	17.3	44.5	11.6	18.7	18.5	25.7	15.8	25.0	27.3	16.7	18.6	19.4	15.5	21.3
26.7	28.7	17.9	33.2	20.8	28.6	40.6	28.6	20.0	37.5	42.0	21.0	27.0	26.3	29.6	28.7
82.6	82.5	83.9	82.5	81.5	79.9	84.5	85.8	74.1	83.8	84.3	81.9	86.5	87.7	81.8	83.1
50.4	50.3	54.5	52.2	44.0	48.8	55.1	46.3	45.4	54.6	54.9	53.6	49.0	48.8	49.6	50.6
78.5	78.4	76.4	82.5	78.0	79.5	84.4	81.8	75.0	84.1	85.5	79.0	81.0	82.0	77.6	79.1
51.0	51.4	48.7	53.7	49.3	53.2	57.5	52.8	50.3	54.1	55.7	48.1	54.4	54.8	53.2	53.4

ウ 内容・領域別結果の概要

内容・領域	問題数 (問)	通過率の高かった 問題	通過率の低かった 問題	各内容・領域 の通過率(%)	設定通過率 (%)
世界の様々な地域	13	1(1)、1(2)、	4(5)	60.0	55.0
日本の様々な地域	4	2(1)②		60.7	53.8
歴史のとらえ方	4		5(3)、6(2)	44.9	60.0
古代までの日本	8		6(2)、7(3)、 7(5)	40.3	55.0
中世の日本	6	9(1)、9(3)	8(2)、8(3)	52.9	48.3

エ 評価の観点別結果の概要

評価の観点	問題数 (問)	通過率の高かった 問題	通過率の低かった 問題	各観点の 通過率(%)	設定通過率 (%)
社会的な思考・ 判断・表現	17	2(1)②	5(3)、7(3)、 7(5)、8(2)	49.6	49.7
資料活用の技能	2	1(2)		72.0	77.5
社会的事象につ いての知識・理解	15	1(1)、5(2)、 9(1)、9(3)	4(5)、6(2)、 8(3)	55.3	55.3

オ 個々の問題の主な誤答例とその原因

問題番号	通過率(%)	設定通過率 (%)	主な誤答(無答を含む)例 (かっこ内の数字は、抽出した解答全体に占める誤答の割合・%)
1	(4) 46.5	50.0	時刻は適切・理由が不適切(記述なし)(28.5)、時刻・理由とも不適切(記述なし)(25.5)、無答(24.0)
4	(1) 48.5	40.0	季節風と降水量の関係の記述がない(37.5)、稲の生育の記述がない(19.5)、無答(14.5)、資料読み取りが不適切(12.5)、指定語句不使用(7.0)
5	(3) 10.9	45.0	天皇のみを回答(34.5)、無答(20.5)、貴族のみを回答(9.5)、仏教に関する回答(9.5)、文化に関する回答(7.5)
6	(1) 49.9	80.0	倭(15.5)、魏(6.5)、無答(6.5)、奴国(4.0)、日本(2.0)
6	(2) 28.1	70.0	ウーエ(23.5)、イーエ(20.5)、イーウ(11.5)、アーイ(7.0)、アーウ(4.5)
7	(3) 20.1	45.0	ア(37.5)、ウ(33.0)
7	(5) 28.3	40.0	ウ(34.5)、ア(23.5)、エ(11.0)
8	(2) 21.3	50.0	無答(38.0)、〇〇(鑑真、渡来人、行基等)が広めた(16.5)、〇〇(武士、農民等)に広めた(7.0)
8	(3) 28.7	50.0	無答(28.5)、武家諸法度(13.0)、大宝律令(6.0)、御恩と奉公(3.5)

- 誤答の原因として、6(2)や7(3)、(5)では、学習した知識を活用して、正答に導く考え方が不十分であると考えられる。
- 誤答の原因として、1(4)や4(1)では、複数の資料を適切に読み取ったり、学習したことを活用したりして、その結果を言語化することが不十分であると考えられる。
- 誤答の原因として、8(3)では、無答が多いことから、基礎的・基本的事項の定着が不十分であることが考えられる。

- 記号で答えるべきところを記述するなど、十分に問題文を読み取っていないと思われる解答が多く見られる。資料を読み取る力にもつながることから、日常的な指導が望まれる。

カ 今後の指導について

内容・領域別にみた課題としては、歴史的分野の「歴史のとらえ方」や「古代までの日本」の学習内容の定着が挙げられる。

今後の指導においては、生徒が主体的に学習に取り組めるよう、導入での学習活動に既習事項と資料等とのずれから生徒に疑問をもたせるなどの工夫をすることで、学習問題を十分に理解させ、生徒にとって必然性のある学びとなるようにすることが考えられる。

指導例

既習事項のイメージをひろげ、新出事項とのずれを活用した単元の導入 ～単元名「東アジア世界とのかかわりと社会の変動」～ 題材名『モンゴルの襲来と日本』

【指導の流れ】

1 小学校の学習内容を活用させる。

(1) 単元（本時）の導入で、小学校の学習内容を振り返らせる。

学習活動 資料「蒙古襲来絵詞」を提示し、元寇の学習を振り返る。



どちらが元軍かな？また、なぜそう思ったのかな？

左側です。なぜなら、集団戦法で、火器を使っているからです。

そうね、元軍が強そうね。



2 既習事項と新出事項とのずれを活用し、生徒に疑問をもたせる。

(1) 強力な元軍に日本が勝利したことを確認させる。

学習活動 思考ツール（ウェビング）を活用する。



ウェビングで元寇のイメージをひろげてみよう。ペアで行います。真ん中に、元寇と書いて、連想するワードをどんどん書き出してみよう。



日本にとって、一番の成果は何ですか？

強い元軍に勝ったこと、日本を守れたこと。



ポイント イメージを拡散させた上で収束させるため、思考ツール（ウェビング）を活用する。

(2) 元寇後、鎌倉幕府がおとろえ、やがてほろぶという事実気付かせる。



さて、元寇の後、幕府政治はどうなったと思う？

大帝國に勝ったから勢いを増し、幕府政治は発展、安定していくんじゃないかな。



年表で、元寇後の日本について確認してみよう。



あれっ？「1333年、鎌倉幕府がほろびる」と書かれています。

えっ？「幕府がおとろえる」と書かれています。



3 学習問題を設定させる。

学習活動 疑問に思ったことなどを、自分の言葉で言語化し、発表する。



モンゴル帝国という強い相手に勝ったのに、なぜ幕府がほろぶんだろう？

元寇の後、何かあったのかな？



日本が元軍に勝ったにもかかわらず、幕府政治がおとろえ、やがてほろぶのはなぜか。

ポイント 導入を振り返り、その気づきを言語化させ、「問いの顕在化」をねらう。

- 4 学習問題についての予想を、付箋やカードに書かせ、思考ツール（KJ法）を用いて類型化し、今後の学習を見通させる。〈見通し〉
- 5 予想を諸資料をもとに検証させる。
- 6 個で調べたことをもとに、グループで話し合わせる。
- 7 グループの検証結果を全体に発表させる。
御恩と奉公のくずれ、領地の分割相続徳政令など北条氏の失政、悪党の出現津軽安藤氏の内乱への干渉 など
- 8 本時のまとめを、自分の文章で記述させる。

ポイント

- ・思考ツール（KJ法）を活用した学習活動は全員参加型の授業を成立させ、主体的、協働的に学ぶというアクティブ・ラーニングを実現させる。また、情報の可視化、情報の操作化という特性をもつ思考ツールの活用が有効である。
- ・自分の文章で本時のまとめを記述させることが、確かな学力の定着につながる。

歴史的事象は1時間の授業だけで完結するものではなく、互いに関連・影響し合いながら、現代に至っていることは言うまでもない。授業においては、歴史的事象を関連付けたり、比較したりする学習活動に継続して取り組んでいくことが求められる。

特に「文化」や「経済・生活」などの歴史的事象は単独の歴史的事象として扱いがちである。前後の時代と比較したり、その時代の政治や社会、または現在の生活と関連付けたりする学習活動を継続して行うことで、より一層の定着と活用力の向上を図りたい

指導例

文化の特色と時代背景を関連付けて時代の特徴を捉えさせる指導
～題材名「室町文化」～

【指導の流れ】

- 1 本時の学習問題を設定させる。
・金閣と銀閣の写真を提示して違いなどに注目させ、学習問題を設定する。



2枚の写真を比べると、どのようなことに気付きますか。



金閣は華やかな感じがします。



それに比べて銀閣は簡素な感じがします。でも、どうしてこんなに違うのかな？

義満の時期と義政の時期の文化は同じ時代なのに、なぜ違いがあるのだろうか。

2 学習問題に対して予想させる。

- ・既習事項を振り返って予想する。



まず、義満と義政が将軍だったときに、どんなことがあったか振り返りましょう。



義満は花の御所も建てたし、勘合貿易などで経済的に豊かだったよね。



義政のころは応仁の乱があって社会は混乱していたよね。

3 グループで予想を検証させる。

学習活動① 義満と義政が将軍だったときの政治や社会背景を確認し、どういう時期であったかを話し合う。



義満が京都の室町に幕府を移したんだ。南北朝の動乱が終わったのもそのころだね。



日明貿易や朝鮮、琉球との貿易もさかんになった時期だったわ。



政治が安定し、貿易で豊かになった時期だね。



でも、義政が将軍だったときは、応仁の乱が起こって幕府の力が低下したわ。



その時期は簡素なものが好まれたのかな。



政治や社会の状況は全然違うよね。こういうことが文化に表れるみたいね。

ポイント 1つの歴史的事象を他の歴史的事象と関連付けて考えられるようにする。

学習活動② 室町文化について、金閣と銀閣以外のものを調べる。



義満の時期の文化を北山文化といいます。能や狂言、茶の湯、生け花が流行ったようだよ。



義政の時期の文化は東山文化ね。書院造や水墨画が見られるわ。



茶の湯、生け花、書院造…ここから何か気付くことない？



今の私たちの生活にも見られます。

4 検証の結果を全体で確認させる。

5 本時のまとめを、自分の文章で記述させる。

(まとめの例)

北山文化は、政治が安定し社会が豊かになった世の中を反映して、金閣のような華やかな文化となった。一方、東山文化は、社会の混乱や幕府の力の低下を反映して、銀閣のような簡素な文化となった。

また、室町時代は民衆の経済的な成長とともに、民衆にも文化が広がった。

ポイント

- ・他の時代の文化においても、本時と同様の学習活動を繰り返すことが有効である。
- ・歴史的事象と現代の生活との結びつきにも気付かせる。

「活用」に関する問題についての課題としては、複数の資料から読み取ったことを適切にまとめたり、読み取ったことから課題を発見したりすることにあると考えられる。

今後の指導においては、地理的分野においても、歴史的分野においても、複数の社会的事象や資料を組み合わせるような学習活動に、継続して取り組むことが大切である。それぞれの事象や資料から指摘できることを言語化させ、そのことから共通性や相違点を見付けさせたり、比較・関連付けたりした上で、ペアやグループ、全体で発表し、より適切な解を求めするために話し合い、多面的・多角的に事象を見ることができるようになりたい。

指導例

複数の資料の読み取りを基にした問題解決的な学習の展開 ～単元名「ヨーロッパ州」～ 題材名『ヨーロッパの課題』

【指導の流れ】

1 既習事項の確認と新たな資料の読み取りからギャップを導き、学習問題を設定させる。

学習活動① 既習事項（共通通貨ユーロ）と資料（EU加盟国のユーロ導入国：主題図）を読み取って学習問題を設定する。

EUは統合されたことによって、世界の経済に影響を与える存在となりました。また、EU加盟国内では共通通貨ユーロが使われるなど、人や物の動きなどにメリットがありました。



でも、資料を見るとユーロを使っていないEU加盟国があるよ。なぜなんだろう？



ユーロを使っていないEU加盟国があるのはなぜだろう。

ポイント

既習事項とそれとは異なる内容が読み取れる資料を提示することにより、生徒の認識にずれが生じ、疑問をもたせやすくなる。

学習活動② 学習問題に対して予想する。



EUの中にも、国によっては何かの差があるんじゃないかな。

国の経済が乱れているからかな。



2 複数の資料を読み取り、予想を検証させる。

学習活動① グループ内で担当する資料を決め、各自資料を読み取る。読み取った内容をキーワードにして付箋に書く。

学習活動② グループ内で読み取った内容を説明し合う。付箋を資料の下に貼り付ける。(表参照)

私の担当した資料は、ヨーロッパの農工業生産額を表した主題図です。この主題図からは、特にフランス、ドイツ、イタリア、スペインなど西側の国の生産額が高く、東側の国々が低いことがわかりました。



私の担当した資料は、GDP総額の主題図です。この主題図からは、西側の国々のGDPが高く、東側の国々が低いことがわかりました。10倍以上の差があるところもあります。

表

資料Ⅰ 「農業・工業生産額」	資料Ⅱ 「EU加盟国の拡大」	資料Ⅲ 「労働者の推移」	資料Ⅳ 「国内総生産総額」
西側が高く、 東側が低い。	西側が早く、 東側が遅い。	西側が多く、 東側は少ない。	西側が高く、 東側が低い。

学習活動③ グループで全体的な傾向を読み取る。



1つ1つの資料は違うけれど、共通することはないかな。

西側の国と東側の国に差があるよね。

経済格差があるということか。

資料Ⅳと最初の資料に関連があるんじゃない。

経済的な伸びがあまり見られない国にはユーロが導入されていないんだ。



ポイント

- ・一人一人に資料を分担し、読み取った内容をキーワードで表すことによって説明が必要となり、言語活動の充実につながる。
- ・一つ一つの資料を読み取った後、他の資料の読み取り結果と比較し、関連付けるなどの活動を取り入れることによって、資料の読み取り技能を高める。さらに社会的事象相互の関連性を見出し、多面的・多角的に社会的事象を捉えることができる。

3 検証の結果を全体で確認させる。



イギリスのように導入条件をクリアしても、あえて導入しない国があります。また、政治面でも課題があるようです。

イギリスはどのようにユーロを使わないのだろう。



4 本時のまとめを、自分の文章で記述させる。

5 本時の振り返りをさせる。

なお、平成26年度、平成25年度、平成24年度学習状況調査実施報告書内の事例でも、資料の読み取り及びその結果の言語化を取り上げているので、参考にしていただきたい。今回はすべて1単位時間を意識した事例を取り上げたが、単元全体の見通しと振り返りについては過去3年間の報告書に事例を掲載しているので、単元全体を見通した学習活動が重要なことは言うまでもない。

キ まとめ

内容・領域についての学習状況は、地理的分野「世界の様々な地域」、「日本の様々な地域」においてはおおむね良好である。また、歴史的分野「中世の日本」では改善傾向が見られた。しかし、歴史的分野「歴史のとらえ方」、「古代までの日本」について、基礎的・基本的な社会的事象そのものの理解や、事象間を関連付けた定着は十分とは言えない。

今後、歴史的分野の指導においては、歴史的事象を繰り返し学習できるような学習活動に継続して取り組むようにしたい。また、地理的分野の指導においては、各地域を特色付ける基礎的・基本的事項を定着させられるよう、統計資料や地図、写真等の適切な活用の工夫が必要である。

評価の観点からみた状況は、各観点ともおおむね良好である。しかし、「社会的事象についての知識・理解」、「社会的な思考・判断・表現」については、地理的分野と歴史的分野との差が大きく、歴史的分野は引き続き、改善が必要である。

今後は、「複数の資料」から読み取ったことを言語化し、それを基にして比較・関連付けするなどしてまとめたり、指摘したりするような授業を行うようにしたい。

「活用」に関する問題についての状況は、十分とは言えない。設定通過率を上回った問題は、地理的分野が11問中8問であったものの、歴史的分野は6問中1問が設定通過率を上回るにとどまった。

今後は、特に歴史的分野において、社会的事象間の関連を考えさせたり、資料から読み取ったことを言葉で表現させるような学習活動を授業の中に適切かつ継続して位置付けたい。